

# 日本英学史学会 中国・四国支部

## 平成24年度 第2回 (通算67回) 研究例会 (今治研究例会) プログラム

日 時： 2012年12月8日 (土) 13時00分 受付開始

会 場： 今治明德高等学校 矢田分校 2階ホール  
〒794-0081 今治市阿方甲 287 Tel.0898-25-3787 (代) Fax.0898-25-6388

開会行事 (14:00~14:05) 支部長挨拶

研究発表(1) (14:05~15:15)

### 太平洋戦争下の愛媛県今治地域での英語教育 藤本文昭氏 (今治明德高等学校矢田分校)

「太平洋戦争中の学校では英語教育が禁止されていた」という言説がある。たしかに女学校を中心に英語の時間を縮小あるいは廃止する学校もあった。しかし実際には太平洋戦争中も男子生徒を教育した中学校や陸海軍の学校では英語教育が行われていた。愛媛県もその例外ではない。女学校では英語の授業が廃止されるも、男子のみを入学させていた旧制中学校では英語教育が戦時下でも行われてきた。巷では英語排斥が叫ばれているさなか、旧制中学校では淡々と英語の授業が行われていた。1944年、海軍兵学校を受験する予定の者には勤労動員を免除し、英語の課外授業まで行っていた。本研究では、愛媛県今治地域またはその周辺の中等学校での戦時下の英語教育の実態を体験者の証言や残された資料をもとに検討・考察する。

〈〈 休憩 (15:15~15:30) 〉〉

研究発表(2) (15:30~16:40)

### 今治出身の重見周吉と『日本少年』 菅紀子氏 (松山大学 非常勤講師)

重見周吉は明治維新に先立つ1865年今治に生まれた。同志社英学校を経てエール大学に留学中、学費を繋ぐため指導教授の勧めに従い、今治での少年時代を回想し、日本文化と生活について米国本土で出版した英文著書が *A Japanese Boy by Himself* (『日本少年』) である。ロンドンにおける同書の発見に端を発して以来、本文の翻訳と並行し白紙の状態から調査研究を開始したが、その過程で得てきた資料を今回まとめて紹介し、重見の人物像に迫る。

〈〈 感想記入 (16:40~16:45) 〉〉

閉会行事 (16:45~17:00) 副支部長挨拶  
写真撮影

忘年懇親会 (18:30~20:30) 信州そば 久保田 (会費 4,000円)

問合せ先 日本英学史学会中国・四国支部事務局  
〒727-0023 広島県 庄原市七塚町 562 県立広島大学 馬本研究室内  
メールアドレス： eigaku@tom.edisc.jp  
FAX 番号： (0824) 74-1725